

エコ温泉のチャレンジ

地域の山林を間伐することにより発生した間伐材をそのまま使用できるボイラーを開発・導入した。さらに、乾燥技術の研究により廃熱まで使用する仕組みを確立したことにより、従来の重油ボイラーと比べ、大幅なCO₂削減を実現した。

また、未利用間伐材の有効利用及び資源循環の仕組みの構築、廃食用油の回収・BDF化、イベント等を通じた普及啓発などに積極的に取り組むなど、活動の輪を地域に広げ、さらにまんのう町バイオスタウン構想との連携を図っている。

また、薪作りや間伐材を使っでの工作などの体験学習などを行えるようになったため、子供たちを中心に新たな環境学習プログラムが提供できるようになった。

